

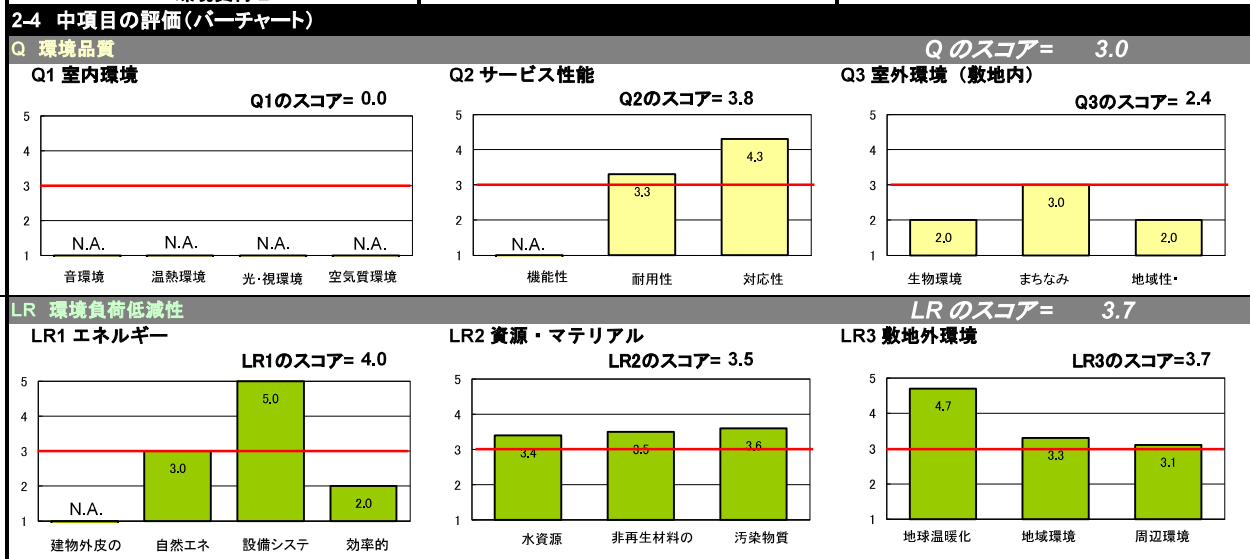
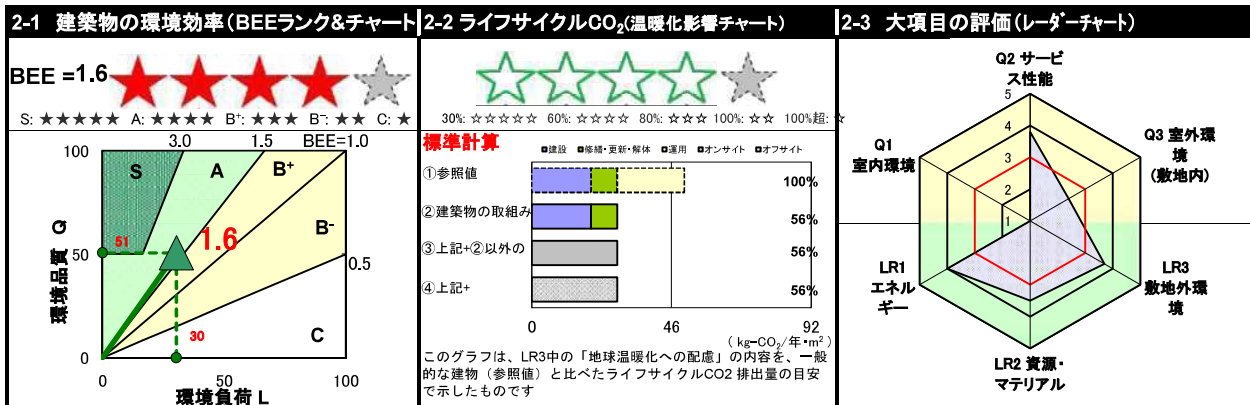
1. 建物概要									
建物名称		BEE	1.6	BEEランク	A	★★★★			
2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価						
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.9	/5	ふつつ						
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.0	/5	ふつつ						
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.5	/5	ふつつ						
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.7	/5	がんばろう						
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上		がんばろう 3 点未満		
3. 重点項目についての環境配慮概要									
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。			内訳対応項目						
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)			得点		3.9				
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④外壁 鋼板30年 ④主要内装仕上 床コンクリート65年、壁・石膏ボード30年、天井・鋼板40年 ④屋外露出ダクト、厨房排気ダクト:ステンレス鋼板 ④主要な用途上の3種以上の2種以上にB以上を使用、Eは不使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨BEIm=0.00 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪自動水栓や節水型便器を採用 ⑫BCP、ハイベースNEO、Hybridニーディング構法、二重鋼管座屈補剛ブレース ⑫内装が乾式工法で分別性・設備との錯綜に配慮 ⑬化学物質排出把握管理法の対象物質を含有しない建材を2つ採用 ⑬ODP=0かつ、GWP=10以下の断熱材を採用 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率56%	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能			
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備			
			3.2	3.2.1	③	昼光制御			
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数			
		2.2.2	④	外壁仕上材の補修必要間隔					
		2.2.3	④	主要内装仕上材の更新必要間隔					
		2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔					
		2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔					
		2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔					
	Q-3	1		⑤	生物環境の保全と創出				
		3	3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上				
	LR-1	1		⑦	建物外皮の熱負荷抑制				
		2		⑧	自然エネルギー利用				
		3		⑨	設備システムの高効率化				
		4	4.1	⑩	モニタリング				
			4.2	⑩	運用管理体制				
	LR-2	1	1.1	⑪	節水				
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無			
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無			
		2	2.1	⑫	材料使用量の削減				
			2.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用				
			2.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
			2.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
			2.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材				
			2.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み				
		3	3.1	⑬	有害物質を含まない材料の使用				
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤			
				3.2.2	⑬	断熱材			
				3.2.3	⑬	冷媒			
	LR-3	1		⑭	地球温暖化への配慮				
		2	2.2	⑮	温熱環境悪化の改善				
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)			得点		3.0				
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性			
				2.1.2	⑯	免震・制振性能			
			2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備			
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備			
			2.4.3	⑰	電気設備				
			2.4.4	⑰	機械・配管支持方法				
			2.4.5	⑰	通信・情報設備				
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)			得点		3.5				
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲平均階高3.9m以上 ⑲[壁長さ比率]<0.1 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱/⑲	ユニバーサルデザイン計画			
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり			
				3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ			
		Q-3	3	3.1	⑲	地域性への配慮、快適性の向上			
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)			得点		2.7				
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (㉔持続可能な森林から産出された木材/㉕温熱環境悪化の改善)	Q-3	1		⑳	生物環境の保全と創出				
		2		㉒	まちなみ景観への配慮				
		3	3.2	㉓	敷地内温熱環境の向上				
	LR-2	2	2.5	㉔	持続可能な森林から産出された木材				
	LR-3	2	2.2	㉕	温熱環境悪化の改善				

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	恩片14-A街区 物流計画	階数	地上5F
建設地	静岡県駿河区恩田原・片山土地地区画整理事業区内14街区(画地)	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	585 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2025年5月22日
敷地面積	17,933 m ²	作成者	フクダ・アンド・パートナーズ 一級建築士事務所
建築面積	7,363 m ²	確認日	
延床面積	36,154 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。		その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
-	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される